



「教育費負担軽減・奨学金制度改善に向けたアピール」に対する 個人署名へのご協力のお願い

労働者福祉中央協議会より「教育費負担軽減・奨学金制度改善に向けたアピール」に対する署名活動への協力依頼があり、ゴム連合として「団体賛同」を行うことが2024年7月4日（木）第6回中央執行委員会で決定しました。

「個人署名」に関しては本部情報として展開させて頂きますので、活動に賛同頂ける方は、Webでの個人署名活動にご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 署名の目的

大学や専門学校を合わせた高等教育機関への進学率は83.8%となり、奨学金の利用者は大学生の約半分まで達するなど、高等教育費の私費負担は限界に達しています。一方、日本の出生率は75万人台となり一段と少子化が進みましたが、その背景のひとつには、子育てや教育にお金がかかりすぎる言われているとされています。

政府は「こども未来戦略」において、今後3年間における集中的な取り組みとして「加速化プラン」を設定し、高等教育の負担軽減を拡大する諸施策を講じてはいますが、すべての世帯を対象とはせず、世帯の子どもの人数や所得により限定した施策となっています。また、中央労福協のアンケート調査では奨学金の返済負担が生活設計へ影響し、未婚化や少子化の一因になっていることが分かっていますが、「こども未来戦略」では、既に奨学金を返している方々の負担軽減については対応がされていません。

このため、労働者福祉中央協議会では、6月より「教育費負担軽減・奨学金制度改善に向けたアピール」に対する個人署名活動を実施することとしました。

2. 取り組み期間（集約期限）

一次集約2024年11月8日（金）まで、（集約期間2025年1月31日（金））

※大学等修学支援制度に係る法改正について、次の臨時国会（2024年11～12月頃）において審議が見込まれることから、2024全国福祉強化キャンペーン（10～11月）を山場に取り組みを進めます。

3. 提出先

内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣宛

4. 個人署名方法

下記URL又はQRコードから「個人署名」をクリックし署名下さい。

URL：<https://www.rpjt.jp/p2024/keigen/>

【QRコード】



高等教育費や奨学金返済の 負担軽減のため、公的負担の 大幅拡充を求めます！



今、私ができること。
今、あなたができること。

高等教育費の 負担軽減を



団体賛同・個人署名で示そう

高等教育費の 負担軽減を



授業料を半額に

すべての学生を対象に、大学、短大、高等専門学校（4年・5年）、専門学校の授業料を現在の半額にしてください。



大学等修学支援制度の拡充を

大学等修学支援制度の対象を多子世帯や理工農系に限定することなく年収600万円まで拡大するとともに、授業料減免額も拡大してください。



奨学金返済の負担軽減を

奨学金返済に係る負担の軽減に向けて、貸与型を有利子から無利子へ、所得に応じた無理のない返済制度や返済困難な場合の救済制度を拡充してください。

未来のために 行動しよう！

下記 QRコードをスキャンして
詳細をご覧ください
あなたの参加が力になります



賛同・署名方法につきましては
裏面をご覧ください

提出先

内閣総理大臣
財務大臣
文部科学大臣

オンライン

賛同・署名方法

すべての人が平等に高等教育を受けるためには、みんなが不公平感を抱くことなく、高等教育費の負担軽減を実感できる、政策実現のための取り組みが必要です。

高等教育費の段階的な無償化や奨学金返済制度を改善する政策実現のために、あなたも一歩を踏み出し、ぜひ私たちのアクションにご参加ください!



団体賛同・
個人署名は
こちらから



「個人署名」を
クリックして
署名下さい。

3
ステップで署名

STEP 1

今すぐ賛同

サイトにアクセスして
「今すぐ賛同」
ボタンをクリック!

※賛同の際には利用規約などを合わせてご確認ください

STEP 2

名字
名前
Eメールアドレス

名前とメールアドレスを入力し、
もう一度「今すぐ賛同」
ボタンをクリック!

STEP 3

あなたの賛同を
正式にカウントさせる

届いたメールから
「メールアドレスを認証」

左から順番に入力・クリック

※コメント欄に是非、応援メッセージをご記入ください

※過去に Change.org で署名をされたことのある方は「STEP1」のみで完了します